

内視鏡 AI 画像診断を用いた上部内視鏡検査における胃生検 Group2 の検討

1. 研究の対象

2012 年 1 月 1 日～2023 年 12 月 31 日の期間に上部内視鏡検査時の胃の生検病理診断で Group2 と診断された方

2. 研究目的・方法

上部内視鏡検査での胃生検 Group2*の特徴や転帰を明らかにするとともに、内視鏡画像診断支援ソフトウェア（内視鏡 AI）による診断と医師の内視鏡診断との比較を行い、内視鏡 AI 診断の有用性と課題を検討することを目的とする。診療録から胃生検 Group2 となった対象症例の情報を収集し、最終診断が腫瘍であった症例と非腫瘍であった症例を比較検討する。また、内視鏡画像から病変部が撮像されている画像を抽出し、医師による内視鏡診断と内視鏡 AI 画像診断を比較することで、内視鏡 AI 診断の有用性と課題を検討する。

* Group2 は胃癌取扱い規約の Group 分類において腫瘍（腺腫または癌）か非腫瘍か判断の困難な病変と定義される。

研究期間：研究機関の長の許可日～2027 年 12 月 31 日

利用又は提供を開始する予定日：2025 年 2 月

3. 研究に用いる試料・情報の種類

・診療録をもとに以下の情報を収集する。

患者情報（年齢・性別、身長・体重、既往歴、併存疾患、ピロリ菌感染状況）、内視鏡画像、内視鏡的特徴（病変径、肉眼型、色調、潰瘍・瘢痕・びらんの有無、背景粘膜萎縮度など）、治療方法、病理診断、その他検査に関連する情報（再検査までの期間、最終診断までの検査回数・期間、使用内視鏡機種）、その後の臨床経過や治療内容、転帰（最終生存・死亡）など

4. 外部への試料・情報の提供

外部へのデータの提供はありません。

5. 研究組織

研究機関 大阪大学大学院医学系研究科 消化器内科学 竹原徹郎

6. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。
ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、

研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

大阪大学大学院医学系研究科 消化器内科学

大阪府吹田市山田丘 2-2

TEL: 06-6879-3621

FAX: 06-6879-3629

研究責任者 大阪大学大学院医学系研究科 消化器内科学 竹原徹郎

解析責任者 大阪大学大学院医学系研究科 消化器内科学 林義人